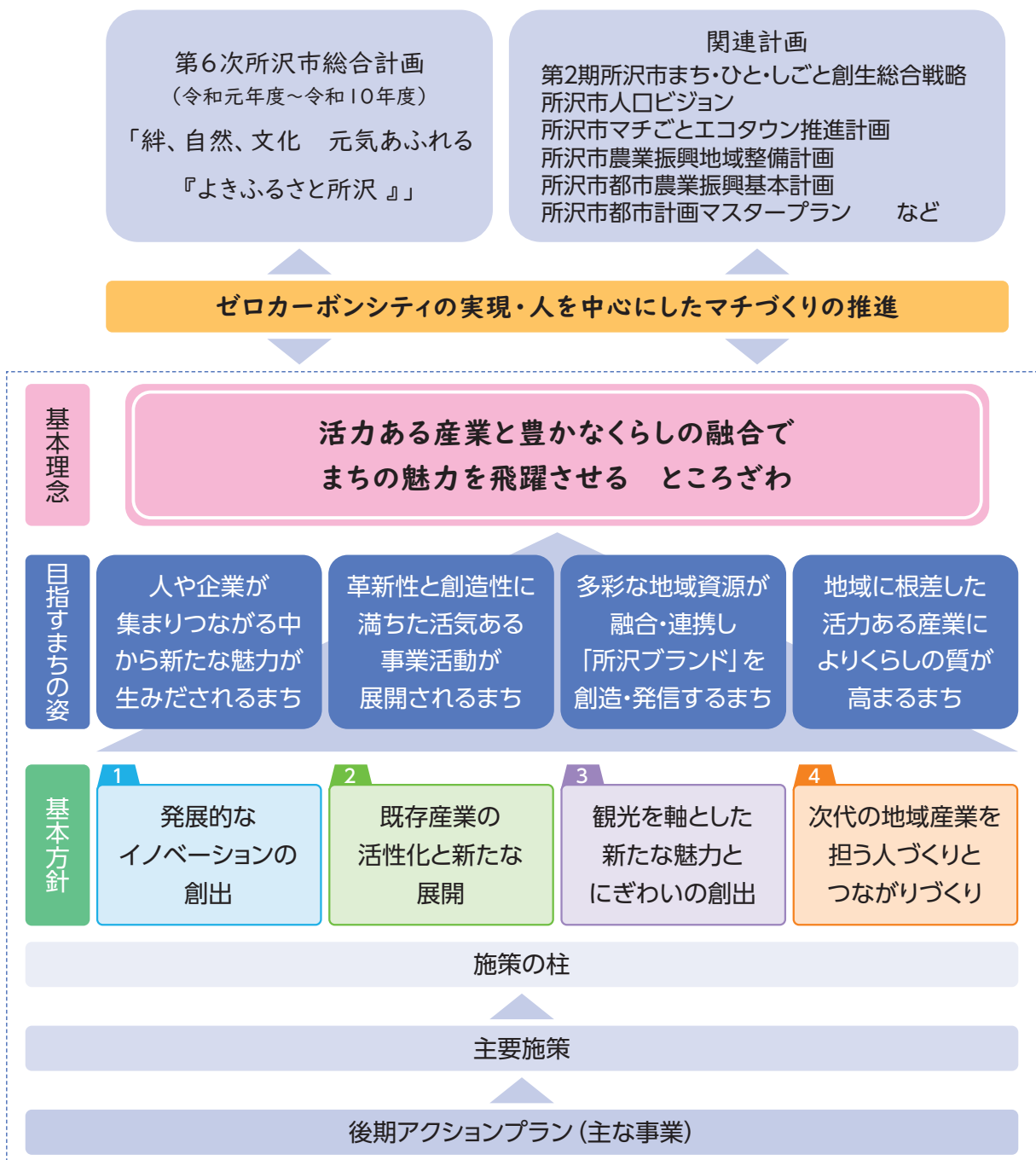


5-1

産業振興施策の体系

本ビジョンの基本理念、「活力ある産業と豊かなくらしの融合でまちの魅力を飛躍させる ところざわ」を実現するため、4つの「基本方針」とそれに基づき展開される「施策の柱」と主要施策を設定し、そのもとに具体的な後期アクションプラン（主な事業）を整理・推進していきます。

後期アクションプランのうち、特に重点的に取り組むべき事業を重点推進事業として位置づけます。



活力ある産業と豊かなくらしの融合で
まちの魅力を飛躍させる
ところざわ

1
発展的なイノベーションの
創出

- 1-1 新たな産業用地等の創出
- 1-2 企業誘致の推進
- 1-3 起業・創業の促進
- 1-4 新たなビジネスやイノベーションの創出

2
既存産業の活性化と
新たな展開

- 2-1 地域を牽引する事業者等への支援
- 2-2 商工業者等の経営基盤の強化
- 2-3 農業の生産基盤・経営基盤の強化

3
観光を軸とした新たな
魅力とにぎわいの創出

- 3-1 にぎわい拠点の創出・活性化
- 3-2 にぎわい拠点のネットワーク形成
- 3-3 観光を軸としたブランド化の推進
- 3-4 農のあるまちづくりの推進
- 3-5 観光客誘致・受入れ体制の強化

4
次代の地域産業を担う
人づくりとつながりづくり

- 4-1 将来の産業を担う人材の確保と育成
- 4-2 働きたい人がいきいきと働ける環境づくり

ゼロカーボンシティの実現・

主要施策

重点推進事業

1-1-1 土地利用見直し等による産業基盤の整備促進

1-2-1 製造業及び都市型産業等の誘致

1-3-1 起業家・創業者の発掘・育成の推進

1-4-1 農商工連携の推進

1-4-2 産学官等連携の推進

2-1-1 新製品開発や販路拡大等の促進

2-1-2 設備投資や経営改善の促進

2-1-3 関係機関と地域を牽引する事業者等の連携促進

2-2-1 資金調達の円滑化促進

2-2-2 産業動向の把握と的確な支援情報の提供

2-2-3 ビジネスマッチングの推進

2-2-4 関係機関等と連携した経営アドバイス及び事業承継の推進

2-2-5 産業関連団体の支援

2-2-6 事業継続に向けた取組の促進

2-3-1 農地の流動化及び集約化の促進と遊休農地の活用推進

2-3-2 所沢市農業振興地域整備計画の適正管理

2-3-3 認定農業者等の経営改善等の促進

2-3-4 環境にやさしい農業の推進

2-3-5 農業経営の安定化

3-1-1 観光資源の磨き上げ

3-1-2 中心市街地の活性化

3-1-3 狭山丘陵の魅力の発掘・向上

3-1-4 商店街の活性化

3-2-1 地域公共交通等を活用した回遊性の向上

3-2-2 広域連携による観光の振興

3-3-1 所沢を象徴する特産品の創出と推進

3-3-2 食を通じた新たな魅力の創出

3-3-3 航空発祥の地をPRする機会の拡充

3-3-4 プロスポーツとの連携推進

3-4-1 農業体験の推進

3-4-2 農業資源の保全と都市農業の推進

3-4-3 地産地消の推進

3-4-4 狭山茶等の所沢農産物の振興と魅力発信

3-5-1 効果的な観光客誘致プロモーションの推進

3-5-2 観光客受入れ環境の充実

4-1-1 若年人材の確保及び人材育成に係る取組の推進

4-1-2 農業の担い手に対する取組の充実

4-2-1 多様な就労ニーズとのマッチングの推進

4-2-2 勤労者福祉の向上と労働環境の充実

1 企業誘致活動推進事業

2 新規創業等支援事業

3 農商工連携推進事業

4 地域資源活用・ものづくり
総合支援補助事業

5 地域産業を牽引する
事業者等支援事業

6 事業継続力強化支援事業

7 認定農業者等経営改善推進
事業

8 「まち」×「みどり」のおさんぽ
コース道標等整備事業

9 広域連携による観光振興事業

10 所沢ブランド特産品
推進事業

11 地産地消推進事業

12 インバウンド戦略推進事業
(COOL JAPAN FOREST
構想事業)

13 産業人材確保推進事業

14 新規就農総合支援事業

15 就労チャレンジ支援事業

第5章

産業振興施策の体系と事業の展開

人を中心にしたまちづくりの推進

基本方針1 発展的なイノベーションの創出

人口減少や少子高齢化、それに伴う生産年齢人口の減少、新型コロナウイルス感染症の流行、切迫・激甚化する災害、原油・原材料価格の高騰、部材調達難、人材不足といった供給面の制約など、事業者は依然として厳しい事業環境に置かれています。

一方で、近年、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット・センサーなど、新たなICTの急速な進展により、生産や消費といった経済活動だけでなく、働き方やライフスタイルも含めて経済社会の在り方が大きく変化しています。

そのようななか、厳しい競争環境に立ち向かっていくためには、社会・経済情勢の変化を捉え、その変化をビジネスチャンスとし、新たな製品・商品、サービスを生み出したり、生産性を高めたりすることで、価格競争に陥ることなく持続的な発展を実現することが重要になっています。

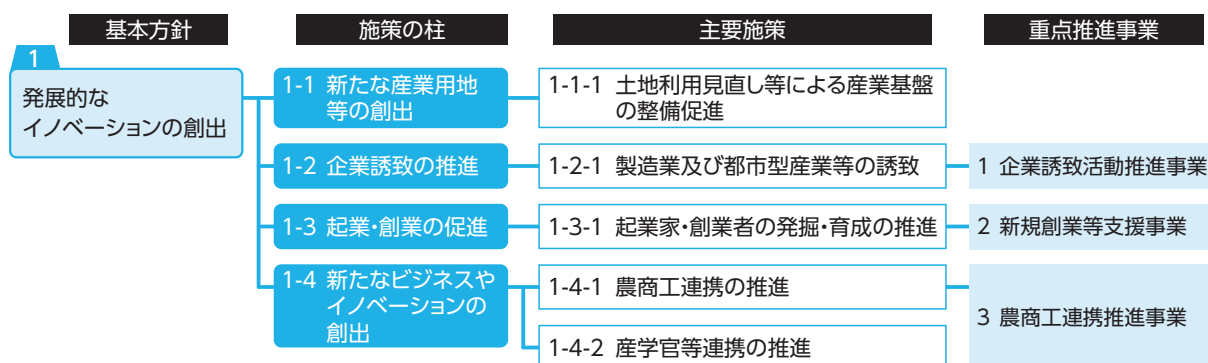
また、本市は、都心から30km圏内にあり、全国各地をつなぐ高速交通網までのアクセスが容易であるため市外からの企業立地のニーズはありますが、産業系土地利用に見合う用途地域が少ない状況にあります。このため、土地利用の適切な見直しを行い新たな産業用地を創出したり、まちなかの未利用スペース等の遊休資源を活用して起業・創業を促進するなど、新たな産業を創出しやすい環境を整備していきます。

さらに、新事業に取り組む企業の創出や、本市に様々な企業が集まり事業活動を営むことを通じて、事業間取引を生み出し、事業者や商店街、農業者、高等教育機関、来街者が交流し相互に触発されることで、新しいアイデアや製品・商品開発に取り組める機会を増やし、新しいイノベーションを創出しやすい環境を作り上げます。

《計画期間における評価指標》

指標名	現状	年度別目標				
		R1	R5	R6	R7	R8
総生産額 (億円)	9,095	9,186	9,278	9,371	9,464	9,559

市内全事業所の生産規模を示す指標であり、第1次産業から第3次産業の総生産額の合計です。毎年度1%分の増加を目指します。【現状値は「令和元年度埼玉県市町村経済計算」から引用】



本市の用途地域のうち、工業系用途地域の占める割合は約3%に過ぎません。また、市内には三ヶ島工業団地と松郷工業団地の2つの工業団地がありますが、これらの面積はいずれも3～4haと小さく、市外から事業所の立地についての問い合わせがあっても、そのニーズに答えられない状況が続いています。

そこで、今後、市外からの新たな企業誘致の推進や市内事業者の事業拡大ニーズに対応するためにも、受け皿となる産業用地の創出を図るとともに、市内の空き店舗や空きオフィスといった遊休施設を有効活用するなど、企業活動の場を整備・確保していきます。

●主要施策1-1-1 土地利用見直し等による産業基盤の整備促進

新たな産業の立地・誘導を促進するため、「三ヶ島工業団地周辺地区」、「関越自動車道所沢インターチェンジ周辺地区」、「松郷工業団地周辺地区」を土地利用推進エリアに位置づけ、産業系の土地利用を推進します。そのうち、特に、拡張整備が計画されている「三ヶ島工業団地周辺地区」について優先的に取り組んでいきます。また、関係機関と連携し、事業所の立地を円滑に誘導するための体制を構築します。

後期アクションプラン(主な事業)

- 土地利用転換推進事業(市街地整備課)



都心からの交通アクセスに優れた本市は、豊富な住宅ストックや水とみどりに囲まれた生活環境も併せ持っており、職住近接型の企業誘致を図るうえで適した条件が整っています。

また、「COOL JAPAN FOREST 構想」の実現に向けた取組を契機に、今後は、アニメーション、コンテンツや ICT 関連産業など、大都市近郊の優れた立地特性を生かした産業の集積が期待されています。

一方で、市内には宿泊施設が少ないことから、ビジネスや観光向けの宿泊者が市外に流出しているという課題を抱えています。

そこで、立地上の優位性や支援施策等について積極的な PR を行うなど、企業立地を促進するための環境づくりを進めます。

●主要施策1-2-1 製造業及び都市型産業等の誘致

製造業はもとより、大都市近郊の優れた立地特性を生かし、情報通信業、アニメーション、コンテンツ、ICT 関連産業等の集積を目指すとともに、ビジネス滞在や観光ニーズの受け皿となる宿泊施設等を対象とする誘致活動を展開します。

後期アクションプラン (主な事業)

■企業誘致活動推進事業 (産業振興課) 【重点推進事業 I】

本市の優れた立地特性を生かし、製造業及び都市型産業 (情報通信業、アニメーション、コンテンツ、ICT 関連産業、宿泊施設等) を対象とする奨励金の交付等により、その誘致と集積を図ります。

また、市内の空き店舗等の未利用不動産について、補助金の交付等により産業系用途としての活用を促進します。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間 (後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工会議所	団体・機関等
目標指標	①所沢市企業立地支援奨励金交付件数 ②都市型産業等育成補助金交付件数						○	○	○	○
年度別目標	①6件 ②5件	①6件 ②10件	①6件 ②10件	①6件 ②10件	①6件 ②10件	①6件 ②10件				

起業・創業は、地域経済の新陳代謝が活発化するとともに、革新的な技術やサービス等が市場に持ち込まれ、新たな価値を創出して経済成長を牽引する成長力の高い企業が誕生する可能性を秘めています。

中小企業の多い本市においても、生活ニーズが多様化しつつある中で新たな市場ニーズに対応していくためには、こうした起業・創業を活発化させていく必要があります。

そこで、市内で新たに起業・創業を志す個人や第二創業を目指す事業者に対する取組の充実を図り、起業家が育つ環境を整備します。

●主要施策1-3-1 起業家・創業者の発掘・育成の推進

所沢商工会議所とも連携しながら、起業・創業に向けた相談会やセミナーを開催するなど、相談体制の充実を図り、市内での起業・創業を後押しします。また、空き店舗を活用した起業・創業を支援し、起業・創業の負担を軽減するとともに、地域課題の解決やまちのにぎわい創出につなげていきます。

後期アクションプラン(主な事業)

■新規創業等支援事業(産業振興課)【重点推進事業2】

市内で新たに起業・創業を志す個人や第二創業をめざす事業者を支援するため、産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画に沿って、商工会議所及び埼玉県産業振興公社(創業・ベンチャー支援センター埼玉)とともに、起業家・創業者の発掘・育成を推進します。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間(後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工会議所	団体・機関等
目標指標	①創業支援対象者数 ②創業者数						○	○	○	○
年度別目標	①250件 ②32件	①393件 ②61件	①393件 ②61件	①393件 ②61件	①393件 ②61件	①393件 ②61件				



地域産業の活性化に向け、新たなビジネスの芽を生み出し、革新的な技術やサービスの提供を果たしていくためには、同業・関連事業者間の提携や共同作業、協業・分業にとどまらず、自社と異質性のある事業所や研究機関等との密接な連携を促し、異なる分野の技術やサービスを組み合わせるといった取組を通じて、より付加価値の高い技術やサービスを生み出していくことが求められます。

そこで、市内外の高等教育機関等との連携の推進等により、新たなビジネスや発展的なイノベーションの創出を図るなど、地域産業の高付加価値化を目指します。

●主要施策1-4-1 農商工連携の推進

農業・工業・商業・観光業等の業種を超えた交流やビジネスマッチングを図るとともに、地元農産物を活用した新たな商品やサービスを生み出す機会を創出します。

連携のきっかけづくりに向けた交流会や連携のための勉強会などにより、農産物等の豊富な地域資源を生かし、農業者と商工業者が協力して、お互いの強みを生かした新商品や新サービスの開発、販路開拓などを推進します。

後期アクションプラン(主な事業)

■農商工連携推進事業(産業振興課)【重点推進事業3】

農業者、商業者、工業者等の情報交換・ビジネスマッチングの機会としての「農商工連携のためのきっかけづくり交流会」や「農商工連携のための勉強会」などの開催により、地元農産物などを活用した新たな商品やサービス等の創出を図ります。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間(後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工会議所	団体・機関等
							○	○	○	○
目標指標	新たな商品やサービス等の創出									
年度別目標	7件	7件	7件	7件	7件	7件				

●主要施策1-4-2 産学官等連携の推進

本市と連携協定を締結している高等教育機関や市内の研究機関等も含めた産学官連携を推進することにより、農業の高度化・農産物の高付加価値化など、新たなビジネスやイノベーションの創出を図ります。

後期アクションプラン(主な事業)

■大学との交流による都市農業振興事業(農業振興課)

基本方針2

既存産業の活性化と新たな展開

市内には多くの中小企業や商店、事業所、産業関係団体等がありますが、地域経済の活性化を図るためには、これらの中小企業者等の振興が不可欠です。

中小企業や商店等は社会経済情勢など外部環境の変動に影響を受けやすいという弱点はありますが、一方で、小規模だからこそ、製品やサービスの提供においてきめ細かいニーズに対応しやすいというメリットや可能性もあります。

このため、独自技術等を持ち、地域にとって良い波及効果をもたらす事業者を集中的・優先的に支援することにより、地域産業全体の底上げと活性化を図ります。

外部環境への対応についても切迫・激甚化する災害や感染症の流行等の非常時に備えることや、事業継続に向けて、中小企業におけるBCP対策や早期からの事業承継対策を推進していきます。また、世界的な地球環境問題への関心が高まるなか、地域経済の持続的発展に向けて、市内事業者によるSDGsやゼロカーボンに係る取組を推進します。

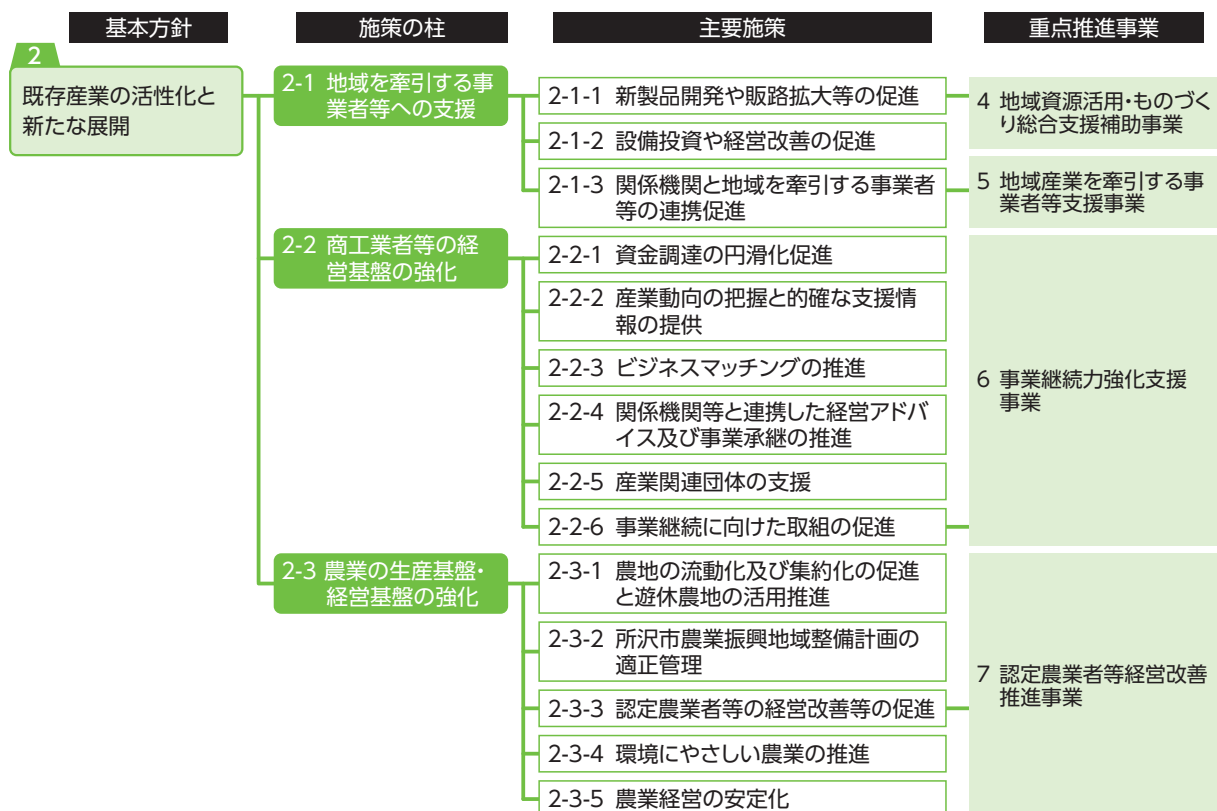
本市の農業の振興においては、令和3年1月に改定した所沢市農業振興地域整備計画等に基づいて、持続的な営農に向けた農地保全や経営改善、環境に対応した農業などが営めるよう良好な営農環境の整備を図ります。

《計画期間における評価指標》

指標名	現状	年度別目標				
		R3	R5	R6	R7	R8
製造品出荷額等 (億円)	1,741	1,791	1,841	1,891	1,941	1,991

市内工業事業所の生産規模を示す指標であり、1年間における製造品出荷額等の合計です。

毎年度50億円の増加を目指します。【現状値は「令和3年度経済センサス-活動調査」から引用】



独自技術を有する事業者や積極的に経営革新を図ろうとする事業者、新たな商品やサービスを開発した事業者は、単に高い競争力を有するというだけではなく、市内の関連産業に対して大きな波及効果をもたらすと期待されます。さらに今後、こうした事業者間の異分野・異業種連携を積極的に図ることにより、新たな事業やサービスの創出につながり、本市産業が飛躍的に前進すると期待されます。

そこで、こうした地域産業を牽引する事業者による新産業・新分野の展開につながる取組を積極的に支援していくとともに、優れた独自技術やサービスを有する事業者に対しては、事業の展開や拡大に向け積極的に支援していきます。

また、事業者の事業革新に向けた投資や経営改善、ゼロカーボンを推進するため、DX・省エネ化・省力化に資する取組を促進していきます。

●主要施策2-1-1 新製品開発や販路拡大等の促進

複数事業者による販路開拓・新商品開発に係る共同研究や活性化への取組をはじめ、事業者の設備投資や経営改善等につながる取組を促進し、地域産業の高付加価値化や発展的なイノベーションの創出を図る取組を推進します。

後期アクションプラン (主な事業)

■地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業 (産業振興課) 【重点推進事業4】

市内の製造業者や農業者等の経営基盤の強化と地域経済の活性化を図るため、市内事業者が連携し、新商品やサービスの開発及び新たな販路の開拓等を行う際に、その経費の一部を補助することで、地域にとって良い波及効果を生み出すとともに市内製造業全体の活性化を図ります。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間 (後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工 会議所	団体・ 機関等
							○	○	○	○
目標指標	補助金の交付件数									
年度別目標	3件	5件	5件	5件	5件	5件				

●主要施策2-1-2 設備投資や経営改善の促進

市内事業者からのニーズが高い設備投資や運転資金の資金調達の円滑化を促進し経営基盤の強化を図るとともに、国や県、本市の産業支援施策に関連する情報を的確に提供したり、関係機関と連携して経営相談のための相談体制を充実させるなど、支援体制の構築を図っていきます。

後期アクションプラン(主な事業)

- 地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業(産業振興課)
- 中小企業融資事業(産業振興課)

●主要施策2-1-3 関係機関と地域を牽引する事業者等の連携促進

競争力のある技術やサービスを提供している事業者等に対して、関係機関と連携して専門的な相談体制を充実させるなど、積極的・集中的に支援していきます。

後期アクションプラン(主な事業)

- 地域産業を牽引する事業者等支援事業(産業振興課)【重点推進事業5】

所沢商工会議所中小企業相談所や埼玉県産業振興公社等と連携した企業訪問、国・県等からの専門相談員の派遣等により、地域中核企業や経営革新計画承認事業者等地域を牽引する事業者等の発掘や、これら事業者による新商品開発や販路開拓等の積極的な取組の実現に向けた支援を行います。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間(後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工会議所	団体・機関等
目標指標	①新規先訪問件数、②既存先支援件数(情報提供、イベント実施など)						○	○	○	○
年度別目標	①6件 ②2件	①5件 ②5件	①5件 ②5件	①5件 ②5件	①5件 ②5件	①5件 ②5件				



市民ホールで開催した「所沢の工業製品展示」の様子

中小企業にとって経営基盤の強化は重要な課題であり、市内事業者等に対するアンケート調査においても、市に望む支援策として、工業では「設備投資」や「運転資金への融資」が、商業・観光業では「補助金・融資等の制度拡充」が最も多く挙げられています。

また、中小企業の経営者や個人事業主等は、資金繰りや経営改善、税務・労務管理や事業承継など、様々な悩みを抱えながら、支援機関との接点が少ないため気軽に相談できる相手がなく、孤立しがちであることが指摘されています。

そこで、市内事業者の経営基盤の強化と経営の安定化を図るため、資金調達の円滑化を促進するとともに、市内産業動向の的確な把握と情報提供、それに基づく経営アドバイスの充実等の取組を推進し、中小企業等の事業活動をバックアップしていきます。

●主要施策2-2-1 資金調達の円滑化促進

市内事業者の資金調達の円滑化を図るため、金融機関等と連携して資金の安定的な供給に努めるとともに、埼玉県及び株式会社日本政策金融公庫の設備投資に対する利子補給など本市独自の優遇制度を整備します。

後期アクションプラン(主な事業)

- 中小企業融資事業(産業振興課)

●主要施策2-2-2 産業動向の把握と的確な支援情報の提供

市内の経済動向に関わる調査等を実施し、本市の産業全体の動向を継続的に把握・分析するとともに、本市の産業振興施策について積極的に情報発信するなど、支援制度・事業の周知とその活用促進を図ります。

後期アクションプラン(主な事業)

- 産業振興ビジョン推進事業(産業振興課)
- 地域産業を牽引する事業者等支援事業(産業振興課)

●主要施策2-2-3 ビジネスマッチングの推進

昨今のデジタル化の急速な進展を踏まえつつ、所沢商工会議所や金融機関のネットワーク、民間機関のマッチング事業を活用することにより、市内事業者のニーズやシーズのマッチングを図り、商品開発や販路開拓など新たなビジネスチャンスを創出していきます。

後期アクションプラン(主な事業)

- 農商工連携推進事業(産業振興課)

●主要施策2-2-4 関係機関等と連携した経営アドバイス及び事業承継の推進

所沢商工会議所中小企業相談所と連携し、中小企業をはじめとする市内事業者からの様々な経営相談に的確に対応する体制の充実を図り、事業者の経営改善と安定化を支えています。

また、経営者の高齢化に直面する事業者等に対しても同様に、所沢商工会議所や金融機関などと連携しながら、適切な助言・情報提供を行い、円滑な事業承継を推進していきます。

後期アクションプラン(主な事業)

■所沢商工会議所補助金(産業振興課)

●主要施策2-2-5 産業関連団体の支援

所沢商工会議所をはじめ、産業関連団体と市が密に連携を図ることで、市内の産業全体の活性化を図ります。

後期アクションプラン(主な事業)

■所沢商工会議所補助金(産業振興課)

●主要施策2-2-6 事業継続に向けた取組の促進

大規模自然災害の頻発や感染症の流行など、事業継続に対するリスクの高まりを受け、事業を継続するためにあらかじめ計画を策定するなどリスクへの備えが重要となっています。中小企業・小規模事業者の事業継続力を強化するため、関係機関と連携し、事業継続に向けた取組の促進をしていきます。

後期アクションプラン(主な事業)

■所沢商工会議所補助金(産業振興課)

■事業継続力強化支援事業(産業振興課)【重点推進事業6】

中小企業・小規模事業者の自然災害などへの事前の備え、事後の一早い復旧を支援するため、所沢商工会議所と所沢市が共同で事業継続力強化支援計画を策定し、事業者向けセミナー等により、中小企業・小規模事業者の事業継続計画(BCP)や事業継続力強化計画の策定を支援し、それぞれの事業継続力強化の取組を支援します。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間(後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工会議所	団体・機関等
							○	○	○	○
目標指標	事業継続力強化計画の策定事業者数									
年度別目標	19者	20者	20者	20者	20者	20者				

農業生産にとって最も基礎的な資源である農用地を良好な状態で確保することは、安定的な食料生産のためには必要不可欠です。本市では、市域の4割強の面積を占める農業振興地域において「所沢市農業振興地域整備計画」を定め、農産物の安定した生産性確保のため、農業の近代化の推進とともに農用地等の計画的な利用を進めています。

農業経営の向上については、農業者が自ら計画する経営改善計画の実現化を進めるため、農作業の効率化や安定生産により経営基盤を強化するための支援を充実します。

また、将来に向けて土壌や周辺環境への負荷を軽減する持続的な農業である環境にやさしい農業を進め、多様な市民ニーズに応えられるよう推進します。

●主要施策2-3-1 農地の流動化及び集約化の促進と遊休農地の活用推進

市内に増えつつある遊休農地について、農地貸借に関するニーズとシーズのマッチング等を行い、遊休農地の解消と農地の利用集積を進めるとともに、新たな農業の担い手の確保を図ります。また、都市近郊農業の特徴を生かすため、市民が入場する体験農場の整備、観光農園や農産物直売所の充実を図ります。

後期アクションプラン (主な事業)

■農業振興・優良農地確保総合事業 (農業振興課)

●主要施策2-3-2 所沢市農業振興地域整備計画の適正管理

市内の農地の利用状況等を調査し、データベース化して各種業務に有効活用するとともに、社会情勢の変化や土地利用動向等を踏まえ、「所沢市農業振興地域整備計画」を適正に管理していきます。

後期アクションプラン (主な事業)

■農業振興・優良農地確保総合事業 (農業振興課)

●主要施策2-3-3 認定農業者等の経営改善等の促進

認定農業者は地域の農業を担う中心的な経営体として、本市の農業を牽引する期待を受けていることから、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進める計画に沿って行う設備導入などの取組を重点的に支援することで農業経営基盤を強化します。



認定農業者に対する設備投資支援

後期アクションプラン (主な事業)

■認定農業者等経営改善推進事業（農業振興課）【重点推進事業7】

地域の農業を担う中心的な経営体として、本市の農業を牽引する認定農業者等が、農業経営の目標に向けて自ら策定した「農業経営改善計画」を実現していくために、農作業の効率化、天候に左右されない安定生産等に必要な施設・機械の整備や修繕に対し、その費用の一部を補助します。

認定農業者等の農業経営の改善を支援していくことにより、安定した農作物の供給を可能とするとともに、地域農業の近代化及び活性化を図ります。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間 (後期)					実施主体				
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工 会議所	団体・ 機関等	
目標指標	機械・施設導入によって経営が改善した経営体数										
年度別目標	21件	30件	30件	30件	30件	30件	○	○		○	

●主要施策2-3-4 環境にやさしい農業の推進

脱炭素社会の実現及び持続可能な農業の更なる推進に向けて、環境負荷軽減に資する有機農業などの環境にやさしい農業について、その拡大と発展に繋がる取組を、販路も確保しながら積極的に行っていきます。

後期アクションプラン (主な事業)

■環境保全型農業直接支払交付金交付事業（農業振興課）

■環境にやさしい農業推進事業（農業振興課）

●主要施策2-3-5 農業経営の安定化

効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けて、農業団体をはじめ、関係機関と連携を図りながら、新規就農者を対象に資金や機械・施設等の導入費用の一部を補助するなどの支援を行います。

後期アクションプラン (主な事業)

■認定農業者等経営改善推進事業（農業振興課）

■新規就農総合支援事業（農業振興課）

■農業経営基盤強化資金利子助成事業（農業振興課）

■農業後継者育成確保推進事業（農業振興課）

■農業団体活動支援事業（農業振興課）

基本方針3

観光を軸とした新たな魅力とにぎわいの創出

新型コロナウイルス感染症の拡大でインバウンドは大幅に減少しましたが、都心部からの近郊来街者を対象とした人とのふれあいを体感できる観光商品も充実していきました。今後、回復が予測されるインバウンド需要に出遅れることなく、積極的に対応し、インバウンド観光と近郊観光の2本の柱で、外部環境の変化への対応も考慮した観光振興を図っていきます。

このような今後の観光動向と本市の可能性も視野に入れながら、ところざわサクラタウンや「所沢市観光情報・物産館 YOT-TOKO (よっとこ)」をはじめ、市内に充実した観光拠点や潜在的な観光スポットに磨きをかけ、回遊性の向上によりネットワーク化を図るとともに、商店街の活性化を図り、全市的に歩いて楽しい魅力とにぎわいのある空間を形成し、地域産業全体の活性化につなげていきます。

さらに、新しい観光商品づくりに向けて、地域の幅広い関係者との連携により地域で稼げる「看板商品」の創出やデジタル技術を活用した観光サービスの変革など、高付加価値なコンテンツを創出（宿泊施設・コンテンツ・観光地全体でデジタル技術を活用）し、観光客の受入れ環境の充実を図ります。

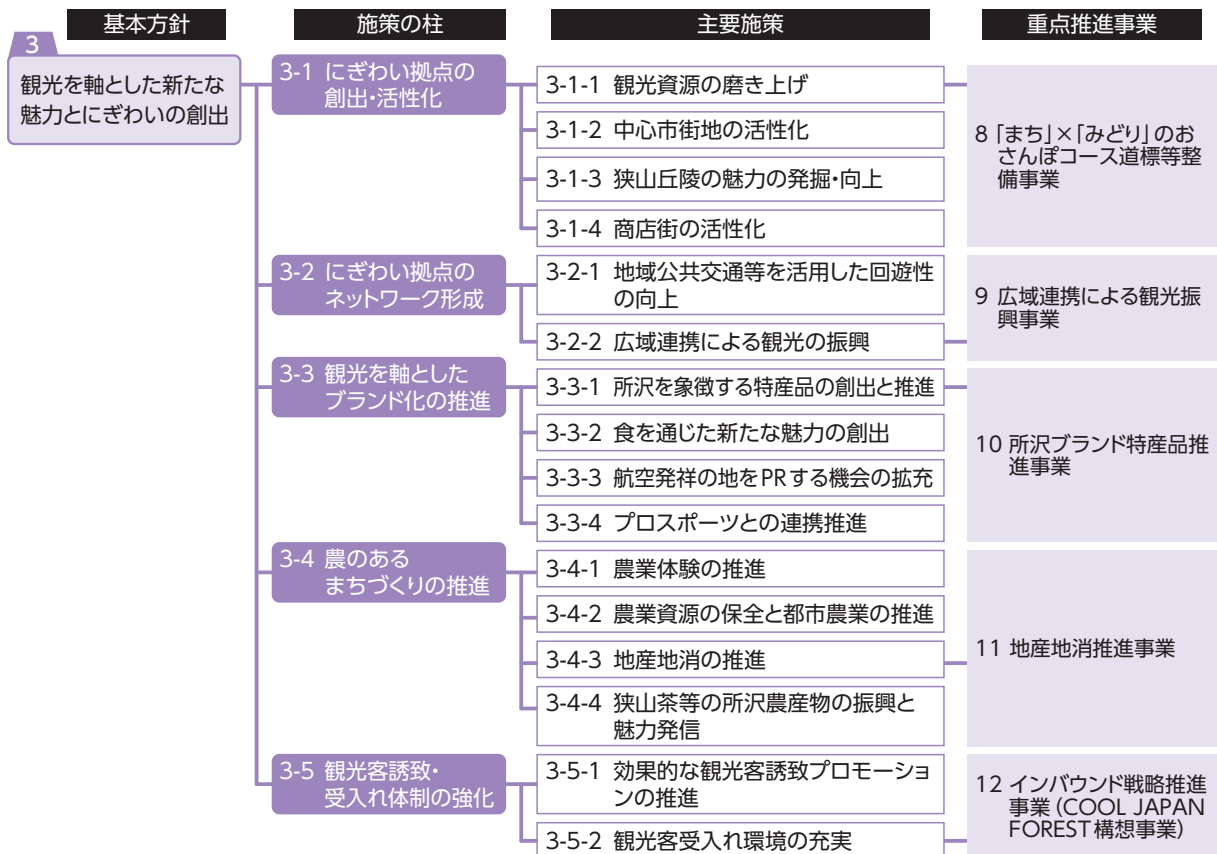
また、市内の象徴的な農産品のブランド化を図るとともに、体験農場、農作物収穫体験や地域住民との交流などを通じて、生産者と消費者の相互理解を図り「農のあるまちづくり」を目指します。

これらによって磨き上げられた本市の観光資源の情報を国内外に発信し、更なる観光客の誘致を図ります。

《計画期間における評価指標》

指標名	現状	年度別目標				
		R3	R5	R6	R7	R8
観光入込客数 (万人)	476	536	566	596	626	656

本市を訪れる観光客のにぎわい度を示す指標であり、観光施設等への観光入込客数です。毎年度30万人の増加を目指します。【現状値は「令和3年埼玉県観光入込客統計調査」から引用】



市の西部に広がる狭山丘陵には、首都圏でも代表的な里山の景観や「トトロの森」に象徴されるような雑木林や動植物等の豊かな生態系、山口観音金乗院や狭山山不動寺等の文化財など、水・みどり・歴史的資源の豊かな地域が残されており、全国から四季折々に多くの人々が訪れる観光・交流拠点を形成しています。

一方、アニメやeスポーツ等のポップカルチャーの発信拠点であるところざわサクラタウン、「所沢市観光情報・物産館 YOT-TOKO (よっとこ)」、西武ドーム、西武園ゆうえんち、所沢航空記念公園、市民文化センター「ミューズ」とい



ところざわサクラタウン 本棚劇場 ©角川武蔵野ミュージアム

った、様々な属性の観光客を受入れる魅力的な観光地・施設が多数存在しています。今後、新たな人の流れが生まれることを視野に入れ、歩くことを基本にみどりと都市のにぎわいをつなぎつつ、それぞれの持つ魅力をより高めることで、本市の多彩な魅力を発信していくことが重要です。

また、本市には鉄道駅の周辺等に39の商店街が形成されており、市民の日常の暮らしを支えています。今後ますます高齢化が進むことが予測されるなか、商店街には、市民の日常生活に不可欠な身近な買い物を支えていくだけでなく、市内外の人々が集うコミュニティ拠点として、にぎわいのあるまちづくりや安全・安心に暮らせる地域づくりに寄与することが期待されています。

そこで、これらの既存・新規の観光拠点の整備・充実を図るとともに、中心市街地や商店街など内外の人々が集う空間の活性化を図り、市内各所のにぎわいのある場を創出・活性化していきます。



所沢航空記念公園

また、本市には鉄道駅の周辺等に39の商店街が形成されており、市民の日常の暮らしを支えています。今後ますます高齢化が進むことが予測されるなか、商店街には、市民の日常生活に不可欠な身近な買い物を支えていくだけでなく、市内外の人々が集うコミュニティ拠点として、にぎわいのあるまちづくりや安全・安心に暮らせる地域づくりに寄与することが期待されています。



暮らすトコロマーケットの様子

●主要施策3-1-1 観光資源の磨き上げ

ところざわサクラタウンなど民間が主体となって開発する観光拠点にあわせ、旧コンポストセンターの利活用の一環として新たな観光・交流拠点として整備した「所沢市観光情報・物産館 YOT-TOKO (よっとこ)」の集客効果を高めるとともに、既存の観光施設の維持管理や新たな観光スポットの発掘等を通じて、観光産業の活性化を図ります。

後期アクションプラン(主な事業)

- 観光拠点の整備・充実事業(商業観光課)
- 「所沢市観光情報・物産館」活用事業(COOL JAPAN FOREST 構想事業)(商業観光課)
- 「フランス航空教育団と日仏交流」次の100年事業(商業観光課)
- にぎわいココ創出支援事業(商業観光課)
- 「まち」×「みどり」のおさんぽコース道標等整備事業(商業観光課)【重点推進事業8】

観光スポット等の場所や経路を示す道標や観光案内板について、既に設置されている箇所もありますが、より歩きやすく、また、歩きたくなるように、まちのにぎわいと美しく豊かなみどりを結ぶ「まち」×「みどり」のおさんぽコースを中心に新たな工夫を凝らした道標や観光案内板等を整備します。

そして、コースそのものを魅力ある観光資源として整備・充実を図ります。

実施期間	ビジョン計画期間(後期)						実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工会議所	団体・機関等
目標指標	新たな道標整備済みコース数(累計)						○			
年度別目標	—	1 コース	→			10 コース				

●主要施策3-1-2 中心市街地の活性化

中心市街地への来訪者を拡大し、商業等の活性化を図るため、回遊性の高いイベントやにぎわいづくりを行う事業等を行い、地域のコミュニティの育成、商店街の連携強化と活性化を図ります。

また、中心市街地にある文化財をストーリーで結び付けるなど、市民や来訪者に分かりやすく見せ、その魅力を磨き上げる取組を推進します。

後期アクションプラン(主な事業)

- 市営駐車場管理事業(商業観光課)
- 中心市街地商業活性化事業(野老澤町造商店負担金)(商業観光課)
- ところざわまつり支援事業(商業観光課)
- 歴史的建造物整備活用事業(文化財保護課)

●主要施策3-1-3 狭山丘陵の魅力の発掘・向上

狭山丘陵の持つ魅力を最大限に発揮し、ヘルスツーリズム等を推進していくため、より多くの来訪者が楽しめる環境整備を図るとともに、周辺自治体とも連携しながら、狭山丘陵一帯の広域的な観光振興に向けた体制構築と情報発信の充実を図ります。

後期アクションプラン(主な事業)

■狭山丘陵の魅力の発掘・向上事業(商業観光課)

●主要施策3-1-4 商店街の活性化

市民の日々の暮らしを支えている商店街や身近な商店等に対しては、主体的・先進的な取組を促進するとともに、組織化・ネットワーク化を推進するなど、所沢市商業振興条例を踏まえ、地域の特性に応じた商業の活性化を図ります。

また、商店街の空き店舗の解消と商店街全体の活性化に向け、空き店舗を活用した新店舗の立ち上げを促進するなど、市内商業の新たな担い手の確保に努めます。

後期アクションプラン(主な事業)

■魅力ある商店街創出支援事業(商業観光課)

■空き店舗活用・新規創業支援出店補助事業(商業観光課)



観光コンシェルジュによるガイドツアーの様子



クアオルト健康ウォーキングの様子



ところざわまつり(居囃子)

ところざわサクラタウンや所沢駅周辺の再開発地区、リニューアルした西武園ゆうえんちやボールパークに大規模改修された西武ドームなど、本市で新たに創出され、また、その魅力が磨かれたにぎわい拠点と、市西部の狭山丘陵や狭山湖といった自然豊かな観光交流拠点とのネットワーク化を図り、より多くの方が市内各所を巡って本市の多彩な魅力に触れるなど、市内の回遊性を高めることによって、それぞれのにぎわい拠点の集客効果が市全体に広がり、観光産業全体が活性化することを目指します。



ところざわサクラタウン ©角川武蔵野ミュージアム

また、本市が位置する埼玉県西部地域には、公園や博物館、雑木林が広がる里山風景、街並み景観、特産品の生産・加工施設など、多くの魅力的な観光拠点や観光資源が分布しており、本市と同一鉄道沿線にある近隣の飯能市、狭山市、入間市、日高市の5市は、首都圏における豊かで魅力溢れる都市圏を創造することを目指す「埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイヤプラン）」のもと、相互に交流・連携を図りながら広域的な活動を展開してきました。今後も、こうした連携の枠組みを生かし、広域的な観光交流の推進に向け、周辺自治体と協議・検討を行い、都

県境を越えた県西部地域一帯の集客力の向上につなげていきます。

さらに、今後インバウンド需要の回復に向けて、外国人観光客等にも対応した受入れ体制を、ハードウェア（立地、建物、設備等）、ソフトウェア（サービスの企画、組織体制等）、ヒューマンウェア（従業員が実際に行うサービス等）の各側面から検討・推進していきます。



シェアサイクルポート

●主要施策3-2-1 地域公共交通等を活用した回遊性の向上

ところざわサクラタウンや所沢駅周辺の再開発地区等の新たなにぎわい拠点と、「狭山丘陵」や「狭山湖」など自然豊かな市西部の観光交流拠点とを結び、市内での観光客の回遊性を高める方策を検討するとともに、健康増進や生涯学習など多様な施策との連携を図り、回遊する価値を高める取組についても検討します。

後期アクションプラン（主な事業）

■観光客回遊性創出事業（商業観光課）

●主要施策3-2-2 広域連携による観光の振興

県西部地域の自治体や「アニメ聖地」等のテーマでつながる全国各地の自治体とも連携を図るとともに、埼玉県と東京都が含まれる狭山丘陵など県域を越えた自治体とも、観光はもとより文化・教育・産業・環境などの広域的な観点から連携を図り、魅力発信の相乗効果と集客力の向上を目指します。

後期アクションプラン(主な事業)

■広域連携による観光振興事業(商業観光課)【重点推進事業9】

観光を取り巻く環境の変化や多様なニーズに対応し、本市の魅力発信と集客力の向上を目指すため、県西部に位置する本市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の5市で組織する「埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)」を通して、観光の課題に取り組みます。加えて、埼玉県と東京都にまたがる狭山丘陵周辺の自治体や同一鉄道沿線に属する自治体と県域を越えて連携を図り、多くの魅力的な観光拠点や観光資源を生かし広域的な観点から観光振興を推進します。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間(後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工 会議所	団体・ 機関等
目標指標	関係団体と実施する観光プロモーション数									
年度別目標	6	8	9	10	11	12				



訪れてみたい日本のアニメ聖地88(2023年版)



食の分野は、農業はもとより、食料品製造業や卸売・小売業、飲食業、運輸業など、様々な産業への波及効果が期待できる分野であると同時に、観光と結びつけることによって外に本市の魅力を広く情報発信することのできるチャンネルとなります。本市には、「狭山茶」をはじめ、さといもやにんじん、ぶどうなど多くの特産品がありますが、なかでも「狭山茶」は、生産から加工、販売まで一貫して行う伝統的な6次産業のシステムに基づいて展開されており、京都（宇治）、静岡と並び三大銘茶と呼ばれているなど、観光資源として高いポテンシャルを有しています。

さらに、本市は日本初の飛行場が開設された「航空発祥の地」であり、飛行場の跡地を利用して整備された所沢航空記念公園と所沢航空発祥記念館は、本市を代表する観光スポットとなっています。また、本市を本拠地としている埼玉西武ライオンズとは、フレンドリーシティとして連携を進めています。市内にはこのほかにも地域固有の自然資源や文化資源が多く存在しているほか、ところざわサクラタウンは、アニメ文化をはじめとする日本最大級のポップカルチャーの発信拠点となることが期待されています。

そこで、こうした市内の様々な観光資源や特産品について発掘・開発し、一層磨きをかけるとともに、観光を軸とした取組を通じて、本市のブランドイメージを高めていきます。

●主要施策3-3-1 所沢を象徴する特産品の創出と推進

所沢を象徴する特産品を創出し、市民や訪日外国人を含めた観光客等へ広く販売できるよう販路支援を行い、所沢ブランドの確立と地域経済の活性化を図ります。

後期アクションプラン（主な事業）

■所沢ブランド特産品推進事業（産業振興課）【重点推進事業10】

所沢の農産物や地域資源、文化・伝統を生かした魅力ある商品を「所沢ブランド特産品」として市が認定し、販路支援策として、販売に協力する店舗を登録する「販売協力店登録制度」のほか、広報紙への掲載、特設WEBサイト・SNSでのPR、販路支援グッズ（のぼり旗やパンフレット）の提供等により、「所沢ブランド特産品」の周知を図ります。

	現状値	ビジョン計画期間（後期）					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工会議所	団体・機関等
実施期間										
目標指標	所沢ブランド特産品のPR回数						○	○	○	○
年度別目標	62回	70回	70回	70回	70回	70回				

●主要施策3-3-2 食を通じた新たな魅力の創出

「食」を生かし、より一層まちの魅力とにぎわいを向上させるため、独自の伝統的な食文化のブランド化を推進し、その普及を図るとともに、新たな食文化の発掘や地域の飲食店が共同で取り組むイベントの支援などにより、本市の魅力を広く発信していきます。

後期アクションプラン(主な事業)

■食を通じた新たな魅力の創出事業(商業観光課)

●主要施策3-3-3 航空発祥の地をPRする機会の拡充

日本で初めての飛行場が造られた航空発祥の地としての歴史を後世に伝承するとともに、これを本市の固有の魅力として磨き上げ、航空に関する歴史等を伝える短編映画の上映や各種イベントなどで市内外にPRしていきます。

後期アクションプラン(主な事業)

■「フランス航空教育団と日仏交流」次の100年事業(商業観光課)

●主要施策3-3-4 プロスポーツとの連携推進

本市を本拠地とするプロスポーツチームである「埼玉西武ライオンズ」、「さいたまブロンコス」との連携を推進し、本市ならではのブランド価値を高め観光資源として活用するとともに、「ふるさと所沢」への愛着や誇りの醸成を図ります。

後期アクションプラン(主な事業)

■ブランド価値の向上事業(商業観光課)



所沢ブランド特産品ポスター



フランス航空教育団来日100周年記念イベント



所沢市民フェスティバル2022トコロんの誕生日会

市内の特産物である農産物のブランド化を図るとともに、体験農場、親子収穫体験や地域住民との交流等を通して、食の安全と農業への理解はもとより、生産者と消費者の相互理解を図り、「農のあるまちづくり」を目指します。

さらに、地域で採れた農産物を地域で消費する「地産地消」を推進することにより、輸送に伴うエネルギー消費の削減を図るとともに、日常の中で地域の恵みや魅力を楽しむ機会を増やすなど、定住と交流の両面から都市近郊農業の利点を発揮させて、生活と産業が相乗的に融合していく環境づくりを進めていきます。

●主要施策3-4-1 農業体験の推進

体験農場や親子収穫体験などを通して、自然に触れ、生産者と消費者の相互理解を図ることにより、「農のあるまちづくり」を進めていきます。

後期アクションプラン (主な事業)

■体験農場推進事業 (農業振興課)

●主要施策3-4-2 農業資源の保全と都市農業の推進

都市のみどりの保全や農地と住宅地が共存する良好な市街地の形成を目指し、市民向け家庭菜園教室を実施するなど、所沢市都市農業振興基本計画に基づき、都市農業を推進します。

後期アクションプラン (主な事業)

■体験農場推進事業 (農業振興課)

●主要施策3-4-3 地産地消の推進

採れたて!農産物直売「とことこ市」の開催支援や学校等給食への食材の提供など、様々な場面や機会を通じて、所沢農産物の利用促進に努め、「地産地消」を推進します。

後期アクションプラン (主な事業)

■地産地消推進事業 (農業振興課) 【重点推進事業Ⅱ】

新鮮でおいしい所沢農産物が地域で消費され、消費者の食の安心・安全へのニーズに応えるとともに、生産者の生産意欲の拡大を図ることを目的に、所沢農産物の学校等給食への導入及び品目拡大、市民への農産物のPR活動や生産者による直売会の開催支援、市内直売所を紹介する「所沢市農産物直売所ガイドマップ」の作成及び配布等の事業を展開することにより地域内流通を進め、地産地消の推進を図ります。

	現状値	ビジョン計画期間(後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工 会議所	団体・ 機関等
実施期間										
目標指標	所沢産農産物の直売所への出荷割合						○	○		○
年度別目標	62.0%	60%	60%	60%	60%	60%				

●主要施策3-4-4 狭山茶等の所沢農産物の振興と魅力発信

狭山茶をはじめ、さといも、にんじん、ほうれん草といった野菜、肉や卵などの畜産物、ぶどうやいちご、植木などの多種多様な農産物や、日本農業遺産に認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」など、本市ならではの農業資源や食文化を発掘・再評価し、所沢農産物のブランド化に向けたイベントの開催やPR活動、農業体験の機会づくり等を通じて、高付加価値化とイメージアップを図ります。

後期アクションプラン(主な事業)

- 所沢農産物ブランド化推進事業(農業振興課)
- 香(こう)感度アップ!狭山茶PR事業(農業振興課)
- 所沢産さといも 元気掘り起し事業(農業振興課)
- 農業祭開催推進事業(農業振興課)



所沢市体験農場(東所沢農場)



採れたて!農産物直売「とことこ市」



駅前茶園での茶摘みの様子

本市は多彩な観光資源を有しており、観光客を意識した基盤整備が進むことで、観光による魅力的なにぎわい空間が創出されます。

また、観光拠点の基盤整備が進捗すると同時に、国内はもとよりインバウンドも視野に入れた効果的なプロモーションを展開していくことが必要であり、本市の多彩な観光資源を訪れる人々の視点に立って観光客の求める情報発信をしていかなければなりません。

観光客誘致につながる効果的なプロモーションを行うためには、関係団体や民間事業者等との連携を一層強化し、所沢市まちづくり観光協会のネットワークや機動力、商工団体や関係事業者等の発信力など民間活力を生かしながら、それぞれの主体が情報を共有し、重層的に絶え間なく情報発信していくことやスピード感のあるタイムリーなプロモーションが期待されます。

そこで、観光客誘致に向けた取組を充実していくために、所沢市まちづくり観光協会や関係団体等との連携を強化するとともに、発信力のある観光大使の活躍や多様なメディアを活用した情報発信を推進し、効果的な観光客誘致プロモーションの取組を強化していきます。

さらに、インバウンド需要の回復に向け、観光客のニーズや好みを把握しながら、観光ガイドの製作や情報誌への掲載、SNSの活用やインフルエンサーを通じた情報発信など、ターゲットとなる観光客を意識したプロモーションを進めていきます。

●主要施策3-5-1 効果的な観光客誘致プロモーションの推進

所沢航空記念公園や狭山丘陵をはじめとする本市固有の自然・文化資源やところざわサクラタウン等の新たな観光資源を生かしたプロモーション活動を積極的に展開し、観光客の誘致につなげます。

また、所沢市まちづくり観光協会や商工団体、関係事業者等との連携を図り、観光大使やイメージマスコット「トコロん」を活用しながら、多様なメディアからの情報発信を積極的に行い、効果的な観光客誘致プロモーションを推進します。

後期アクションプラン（主な事業）

- インバウンド戦略推進事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）（商業観光課）
- 効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業（商業観光課）



●主要施策3-5-2 観光客受入れ環境の充実

インバウンド需要の回復に向けて、外国人観光客の誘致及び事業者等の受入れ体制の整備を行う。国内外の観光客に対するおもてなしやホスピタリティ、所沢に関することを学ぶセミナーの実施や観光案内板等の多言語化を進め、訪日外国人の受入れ整備を充実させていきます。

後期アクションプラン(主な事業)

- 観光振興対策事業(商業観光課)
- 観光拠点の整備・充実事業(商業観光課)
- インバウンド戦略推進事業(COOL JAPAN FOREST 構想事業)(商業観光課)【重点推進事業12】

訪日旅行の回復を見据え、本市のにぎわいを創出し、まちの魅力を高めるためところざわサクラタウンや西武園ゆうえんち、狭山丘陵を含む豊かな自然や歴史、食文化などの多様な地域資源について、海外旅行博への出展やデジタル配信等を通じて、海外市場に向けて効果的に情報発信するとともに、観光案内板や各種表示の多言語化、外国人観光客に対応するガイドの養成等を行い、市内における外国人観光客の受入れ体制の整備を推進します。

	現状値	ビジョン計画期間(後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工 会議所	団体・ 機関等
実施期間										
目標指標	外国人観光客向けガイドの養成者数(累計)						○	○	○	○
年度別目標	—	30人	50人	70人	90人	110人				



ところざわまつり(金山町山車)



市内各所に設置された「道標」の様子

基本方針4 次代の地域産業を担う人づくりとつながりづくり

本市の人口は、将来的には減少に転じることが予測されており、生産年齢人口についてはすでに減少し、従業者の半数以上が他市区町村で従業しているため、人材の確保が困難となっています。また、市内事業者等に関するアンケート調査結果から、いずれの産業分野においても従業員や農業の担い手の高齢化、後継者の確保が経営上の大きな課題となっていることが明らかとなりました。

今後も活力のある産業構造を維持していくために、本市の産業を担う経営者はもとより、その後継者や技能をもった技術的な人材、魅力あるサービスを生み出し提供する専門的な人材など、企業の将来を担う人材を関係機関と連携して確保・育成するとともに、次世代の人材を育成していく産業界の自助的な取組を積極的に支援していきます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で働き方が大きく見直され、テレワーク環境も急速に普及しました。また、人々のライフスタイルの変化や働き方改革の進展により、企業規模にかかわらず、多様な働き方やニーズに合わせた環境を整えていくことが人材の確保・育成に重要となっています。

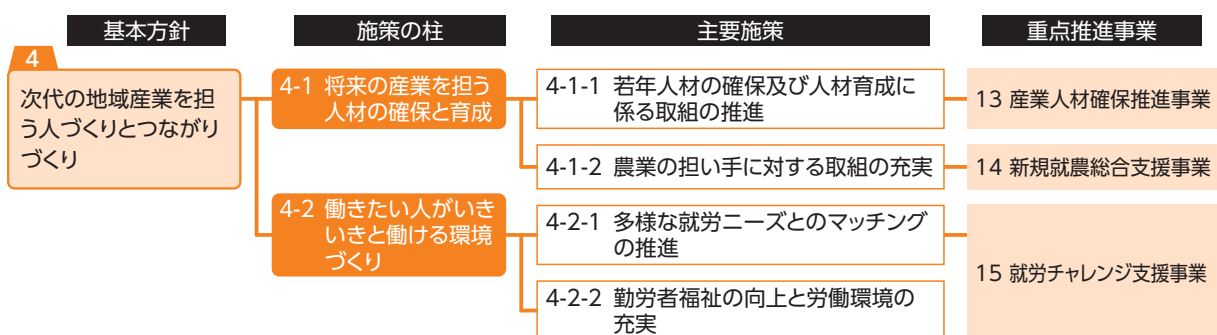
働きたい人が積極的に社会参画を果たしていけるよう、職業能力の向上が図れる機会を創出するとともに、国、県などの関係機関と連携しながら働く環境づくりと就労支援を進めていきます。

《計画期間における評価指標》

指標名	現状	年度別目標				
		R3	R5	R6	R7	R8
市内事業所従業者数(人)	114,500	114,700	114,900	115,100	115,300	115,500

市内事業所全体の従業者の雇用状況を示す指標です。毎年度200人の増加を目指します。

【現状値は「令和3年度経済センサス-活動調査(速報集計)」から引用。全産業の総数(国、地方公共団体を含む。】



今後、少子・高齢化がいつそう進み、生産年齢人口の減少が見込まれるなか、地域産業の持続的発展を目指すためには、産業を支える基盤となる人材の確保が重要です。

一方、本市に住む15歳以上の就業者のうち半分以上が市外で従事しており、労働力の市外への流出が続いています。これを裏付けるように、市内事業者等に対するアンケート調査においても、農業・商業・工業・観光業のいずれにおいても、多くの事業所から人材不足や後継者不足が大きな課題として挙げられており、また行政に求める支援策としても「人材の確保・育成に係る支援」が上位に挙げられています。

そこで、本市の産業が引き続き活力を維持していくためには、人材の確保・育成に向けた取組が喫緊の課題であり、学生に向けた就職情報の発信や農業後継者の確保など、人材の確保と育成に積極的に取り組んでいきます。

●主要施策4-1-1 若年人材の確保及び人材育成に係る取組の推進

学生への情報提供等を行い、次代を担う若年人材の確保を推進するとともに、技術革新やビジネスモデルの変化に対応するために、業務上で必要とされる新しい知識やスキルを学ぶ「リスキリング」を推進するなど、市内事業者や関係団体等が行う人材育成に係る取組を支援します。

後期アクションプラン (主な事業)

■就業支援事業 (産業振興課)

■産業人材確保推進事業 (産業振興課) 【重点推進事業13】

市内事業者の活性化を図るため、学生や大学等に対して市内の中小企業の優れた技術・サービスをPRし、市内事業者の若年人材確保に係る取組を支援します。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間 (後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工 会議所	団体・ 機関等
							○	○	○	○
目標指標	市ホームページ等で紹介した事業者数 (累計)									
年度別目標	15者	25者	30者	35者	40者	45者				

●主要施策4-1-2 農業の担い手に対する取組の充実

高齢化が進む農業における新たな担い手の確保・育成を図るため、新規就農者や農業後継者に対して初期投資や農作業の効率化に向けた設備投資を補助するなど、経営の安定化に向けた取組を支援します。

新たな農業の担い手となる新規就農者に対し、農地の賃借料及び農業機械の導入経費の一部を補助することにより、初期投資の負担軽減や就労時間の短縮、農作業の効率化など、経営の早期安定を図るとともに新規就農者を増やします。

後期アクションプラン(主な事業)

- 農地所有適格法人等支援事業(農業振興課)
- 農業後継者育成確保推進事業(農業振興課)
- 新規就農円滑化推進事業(農業振興課)
- 農福連携推進事業(農業振興課)
- 新規就農総合支援事業(農業振興課)【重点推進事業14】

農業従事者の高齢化が進むなか、新たな担い手の育成・確保を図るため、農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画に地域の中心となる経営体として位置づけられている、または、位置づけられることが確実と見込まれている新規就農者に対し、就農初期段階の経営の安定化を図るため、経営開始資金等を交付し支援します。

	現状値	ビジョン計画期間(後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工会議所	団体・機関等
実施期間										
目標指標	新規就農者数及び研修者人数						○	○		○
年度別目標	6人	6人	6人	6人	6人	6人				



新規就農者の農業機械導入の様子(自動根菜洗機)

人口減少下において地域経済が活力を維持していくためには、女性や高齢者、障害者等の積極的な労働参加が不可欠です。これは単に労働力の確保という点で有効だけでなく、例えば、女性の就労によって社会のニーズに即した新たな商品やサービスを生み出す裾野が広がったり、キャリアのある高齢者が仕事を通じて多くの経験に培われた知識や知恵、技能を次の世代に伝えるといった効果にもつながると期待されます。

また、障害者の就労によって、様々な視点や視野を持った、多様性のある企業文化、組織作りができるだけでなく、適切な仕事に就くことにより、生産性が向上し、しっかりと戦力として活躍することにつながります。

さらに、「活力ある産業」と「豊かな暮らし」を融合させていくためには、勤労者の生活の質の向上を図ることも重要です。

そこで、新たな雇用の受け皿の創出と働く意欲のある人の就労促進と併せ、働く環境や働く人の生活を支える環境づくりを推進していきます。

●主要施策4-2-1 多様な就労ニーズとのマッチングの推進

働きたい人がそれぞれのライフステージに応じて働くことができるよう、若者や女性、子育て世代、高齢者に対する職業相談や職業紹介、職業能力向上のための機会を充実させ、働く意欲のある市民の就労を促進していきます。

また、障害への理解を深め、障害者を雇用したことが企業価値の向上につながることを認識させるとともに、就労機会を拡大するため、表彰や助成制度などにより、市内事業所における障害者雇用を推進します。

後期アクションプラン(主な事業)

- 障害者雇用推進企業支援事業(産業振興課)
- 技能功労者及び障害者雇用優良事業所表彰事業(産業振興課)
- 就労チャレンジ支援事業(産業振興課)【重点推進事業15】

ハローワーク所沢などの関係機関と連携し、若い世代をはじめ、女性や高齢者等の雇用に積極的な市内の事業所等が参加する就職面接会を定期的に開催することで、就労意欲のある若年者や女性、高齢者の就職を支援します。

実施期間	現状値	ビジョン計画期間(後期)					実施主体			
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	市	事業者	商工会議所	団体・機関等
目標指標	就職応援フェア参加者数(若年者)									
年度別目標	48人	80人	80人	80人	80人	80人				

※目標値は毎年「所沢市就労チャレンジ支援事業運営協議会」において見直しを行う予定です。

●主要施策4-2-2 勤労者福祉の向上と労働環境の充実

中小企業への退職金共済制度の普及促進や新規加入事業所への補助を行うとともに、勤労者福祉施設の活用促進等を通じて、勤労者福祉の総合的な向上を図ります。

また、仕事と職場の課題を解決するためのセミナーや相談事業の実施により、労働環境の改善やワークライフバランスの推進を図ります。

後期アクションプラン(主な事業)

- 勤労者福祉サービスセンター補助金(産業振興課)
- 勤労者福祉充実事業(産業振興課)
- ラーク所沢運営事業(産業振興課)
- 就業支援事業(産業振興課)
- 労働セミナー・労働相談等開催事業(産業振興課)



就職支援の様子(就職座談会)



ラーク所沢(勤労者福祉施設)



技能功労者・障害者雇用優良事業所表彰の様子

